



動いていれば何かが変わる 動けば答えが出る

写真: 平山素也
文: 奈良のりえ

コックになることが小学生の頃からの夢だった。広瀬川は授業でスケッチするなど幼いころからお気に入りの場所。開業した店舗、移転した店舗と共に、まさか広瀬川沿いになるとはと、本人も不思議だという。

東京の専門学校を経て都内のイタリアンレストランで修行を積み、その後バックパッカーに。きっかけは夢中になって読み、ドラマ化もされた沢木耕太郎の小説『深夜特急』だった。バックパッカー1つで旅に出る。南米、東南アジア、ヨーロッパなど世界を旅した。「それぞれの国の生活を感じるのが好きなんです」。

ターニングポイントは最初の旅で訪れたタイだった。一人旅はハプニングが付きものだがピンチが訪れた時も「どうにかなる」という経験が、その後の人生を支えている。「動いていれば何かが変わる。動けば答えが出る」と気づかせてくれた。旅は北野さんにとってエネルギーとアイデアの源となっている。

food&barを経営するなか、貴重な休みは家族のために使う。普段は家族

と生活のリズムが逆だからだ。趣味は旅のほか、サッカードとスノーボード。本格的に取り組んでいた時期もあったが、店の営業に専念するため、ケガを懸念し、一時離れた。今は子供たちと一緒に楽しんでいる。

今春、古民家を改装し、古き良きものと新しいものを融合させ、ラテン系の雰囲気を感じさせる新店舗がオープンした。「こんな時期なので不安も入り混じる。まずは10年頑張る」と話す。estilo libre^{エステイロリブレ}はスペイン語で自由な姿・形。自分のペースでやるしかない。北野さんの新たな旅(挑戦)が始まった。

Profile ^{エステイロリブレ} food&bar estilo libre 代表 きたの ^{のりゆき} 北野 則之

1976年前橋市若宮町生まれ。1995年に東京の華調理師製菓専門学校に入学。1997年に卒業後、都内のイタリア料理店に就職。1999年に同店を退社、かねてより憧れを抱いていたタイへ行き、放浪の旅に熱中する。その後、料理修行と旅を繰り返しながらインド、モロッコ、ペルーなど35カ国を周り、2006年、当時30歳でestilo libreを開業。今年で16年目を迎え、4月12日にリニューアルオープンした。(店舗詳細はp.27)

